

「顧客本位の業務運営に関する原則」に示されている内容と当社取組方針、ならびに取組状況との対応関係

SOMPOアセットマネジメント（以下「当社」）は、金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択し、原則の趣旨・精神を踏まえて、「お客さま第一の実践に向けたアクションプラン（以下「アクションプラン」）など、様々な方針を策定しています。

なお原則に対応する各取り組み状況は下表のとおりです。取り組みはアニュアルレポートでも公表していますので、下表の該当ページをご参照ください。

（※）アニュアルレポートは毎年9月に更新し、ホームページに掲載しています。

<https://www.sompo-am.co.jp/company/actionplan.html>

金融庁の原則	当社の取組方針		方針に基づく取り組み（★は2021年度以降の新たな取り組み）		アニュアルレポートの該当ページ
原則2 顧客の最善の利益の追求	<p>企業活動の基礎となる「経営基本方針」において、目指す企業像として「日本一お客さまのことを考える資産運用会社」を掲げるとともに、「お客さま第一宣言」を策定し「3つの実現」を公表しました。</p>	<p>経営基本方針（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SOMPOアセットマネジメントは、資産運用を通じてお客さまの将来の安心と豊かさを実現するとともに、社会・経済全体の持続的発展に貢献していくことが、当社の社会的使命と考えます。 ・ 当社は、アクティブ・バリュー投資を主体とするマネージャーとして、お客さまの中長期的な資産形成に資する最高品質の商品・サービスを提案・提供し、「日本一お客さまのことを考える資産運用会社」になることを目指します。 <p>https://www.sompo-am.co.jp/company/m_policy.html</p>	<p>当社の目指す企業像を具体的に実現するため、経営基本方針に基づく当社の「ミッション・バリュー・ビジョン」、「お客さまとパートナー」との関係、「お客さまに提供する価値」を明確化して取り組んでいます。</p>	<p>当社のミッション、バリュー、ビジョン</p> <p>【ミッション】資産運用を通じてお客さまの将来の安心と豊かさを実現するとともに、社会・経済全体の持続的発展に貢献していくこと</p> <p>【バリュー】アクティブ・バリュー投資を主体とするマネージャーとして、お客さまの中長期的な資産形成に資する最高品質の商品・サービスを提案・提供すること</p> <p>【ビジョン】「日本一お客さまのことを考える資産運用会社」になること</p>	<p>P4：「当社の経営方針における、ミッション、バリュー、ビジョン」</p>
		<p>お客さま第一宣言 3つの実現（抜粋）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. お客さまの資産形成に一層貢献できる運用力の実現 2. 真にお客さまの視点にたった商品・サービスの実現 3. 上記を実現するガバナンス体制・業務基盤の実現 <p>https://www.sompo-am.co.jp/company/customer_No1.html</p>		<p>お客さまとパートナー</p> <p>【お客さま】個人、法人等を問わずすべてのアセットオーナー</p> <p>【パートナー】販売会社や運用の外部委託先等、当社とともにお客さまに価値をお届けする皆さん</p> <p>お客さまに提供する価値</p> <p>【投資顧問事業のお客さま】 商品価値（運用パフォーマンス）、社会的課題解決の価値（社会のサステナビリティ）</p> <p>【投資信託事業のお客さま】 商品価値（中長期の資産形成支援）、社会的課題解決の価値（社会のサステナビリティ）、サービス価値（金融リテラシー）</p>	<p>P5：「お客さまとパートナー」</p> <p>P5：「お客さまに提供する価値」</p>
				<p>事業体制の深化（★）</p> <p>投資信託および投資顧問それぞれのお客さまに対する迅速かつきめ細やかな対応を強化するため、事業別担当役員制（顧問事業担当、投資信託事業担当）の導入に加え、ミドル・バック部門を事業別に再編しました。</p> <p>https://www.sompo-am.co.jp/resources/d2/d2bda885aa80904a72b52295b8c7a12cbbdea4b9.pdf</p>	
	<p>アクションプラン（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社外の目を経営に取り入れ、お客さま第一の視点からのガバナンス体制を強化します。 ・ お客さま第一の実践のため、『お客さま第一委員会』の外部有識者のご意見・ご助言をいただきながら、お客さま第一の取り組みの改善・定着を目指します。 <p>一層のガバナンス強化を図るため、社外の目を経営に取り入れ、経営の独立性を確保・維持する仕組みづくりを進めます。</p> <p>https://www.sompo-am.co.jp/company/actionplan.html</p>	<p>委員長および委員の過半数を社外有識者で構成する「お客さま第一委員会」を設置し、社外の目を経営に取り入れ、ガバナンス強化に取り組んでいます。</p>	<p>お客さま第一委員会（取締役会の諮問機関で、四半期ごとに開催）</p> <p>【主な議論内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お客さま第一の実践に向けたアクションプランおよび、その取組状況 ・ 利益相反の管理に関する取組状況 ・ 投資家・販売会社へのサポートに関する取組状況 ・ お客さま第一の実践に関わる、各種方針など重要事項 <p>https://www.sompo-am.co.jp/company/customer_committee.html</p> <p>体制の見直し（★）</p> <p>2022年4月、委員会における議論の更なる活性化を目指し体制変更（委員長および一部委員の交代）を行いました。</p> <p>https://www.sompo-am.co.jp/resources/f9/f9896e10c105ca668e9e2ce89c49682fd90b306c.pdf</p>	<p>P5：「資産運用業宣言2020」に則った当社の取り組み</p> <p>P29：「お客さま第一委員会」</p>	

金融庁の原則	当社の取組方針		方針に基づく取り組み（★は2021年度以降の新たな取り組み）		アニュアルレポートの該当ページ
原則2 顧客の最善の利益の追求	企業活動の基礎となる「経営基本方針」において、目指す企業像として「日本一お客さまのことを考える資産運用会社」を掲げるとともに、「お客さま第一宣言」を策定し「3つの実現」を公表しました。		当社の取り組み状況を計測し活用する仕組みとして運用力KPI（重要業績評価指標）を設定しています。	アクションプランに定める「運用力KPI」（★） 以下の当社運用力に関する定量評価（KPI）につき直近の状況をHPに反映しました。 ・当社日本株ファンドに対する外部レーティング ・長期的ビジョンに基づく運用体制 ・ESG投資残高 https://www.sompo-am.co.jp/company/actionplan.html	P14：「運用プロフェッショナル人材」 P15：「公募投信パフォーマンス」「投資顧問ビジネスにおけるパフォーマンス」 P18：「ご参考：ESG投資残高」
原則3 利益相反の適切な管理	利益相反管理方針において、信認の獲得に関する内容等を明確化し公表しました。	アクションプラン（抜粋） ・お客さまの利益が不当に害されることを防ぐため、「利益相反管理方針」にしたがい、各種取引の管理および報告の継続により、適切な管理態勢を維持します。 https://www.sompo-am.co.jp/company/actionplan.html 利益相反管理方針 当社では、当社業務における全ての取引・行為について、その性質・構造、関連取引の状況などを勘案し、お客さまの利益が不当に害されるおそれが認められるケースを管理対象として指定し、指定した管理対象は類型化のうえ管理を行います。 https://www.sompo-am.co.jp/company/conflict.html	利益相反管理方針に沿った対応を徹底するため、牽制部署であるコンプライアンス・リスク管理部が半期毎に利益相反管理状況を確認し、お客さま第一委員会および取締役会へ報告を行っています。	P30：「利益相反管理に関する取り組み」	
原則4 手数料等の明確化	経営基本方針、運用商品のご提供に関する基本方針、投資信託の配分方針等において、お客さまの利益に関する内容等を明確化し公表しました。	アクションプラン（抜粋） ・運用商品の手数料、商品の特性や仕組み、配分方針など、重要な情報を分かりやすくお伝えするため、お客さま視点にたった目論見書・販売用資料等の作成・提供を行います。 https://www.sompo-am.co.jp/company/actionplan.html	お客さま利益の最優先に向けて、真にお客さま視点にたった商品・サービスの実現、中長期の資産形成の徹底に取り組んでいます。	コストの明確化 お客さまにご負担いただくコストに関しては、どのようなサービスの対価であるかを含め、詳細がご理解頂けるよう開示しています。（下記リンクは2021年12月に新規設定した公募投信「SOMPO 1 2 3 先進国株式」の例です） https://www.sompo-am.co.jp/fund/7058/cost.html	P21：「運用商品のご提供に関する基本方針」
原則5 重要な情報の分かりやすい提供		経営基本方針（抜粋） ・お客さまの運用ニーズに対し、最高のソリューションを提供します。 ・お客さまの中長期的な資産形成に貢献する商品の提案・提供に取り組めます。 ・お客さまに安心して資産をお預けいただくための有益な情報提供・資料作成を行うことで説明責任を果たします。 https://www.sompo-am.co.jp/company/m_policy.html アクションプラン（抜粋） ・「運用商品のご提供に関する基本方針」に沿い、お客さまの中長期的な資産形成に貢献する商品の開発・提供を継続します。 ・お客さまが自分にふさわしい商品を選択しやすくするため、お客さまの知識や経験など商品ごとに想定するお客さまを明確にし、投資上級者や投資初心者等、お客さまの特性に適した商品を開発します。 ・お客さまの声・ご意見を商品開発やお客さま向け説明資料等に反映するための取り組みをすすめます。 ・運用商品の手数料、商品の特性や仕組み、配分方針など、重要な情報を分かりやすくお伝えするため、お客さま視点にたった目論見書・販売用資料等の作成・提供を行います。 ・お客さまの知識や経験などにふさわしい商品提供が行われるようにするため、当社が商品毎に想定しているお客さま属性を明確にし、販売会社への情報提供と対話を強化します。 ・お客さまの適切な商品選択に資するよう、お客さまの立場にたったわかりやすい各種情報提供の充実を図ります。 ・「運用商品のご提供に関する基本方針」に沿って、合理的な運用報酬を設定するとともに、既存商品については、適宜見直しを行います。 https://www.sompo-am.co.jp/company/actionplan.html		商品・サービスの提供 ・お客さま第一の実践に向けたアクションプランの「真にお客さまの視点にたった商品・サービスの実現」に沿って、お客さま第一委員会のメンバーの意見もふまえた取り組みを継続し、その取り組み状況をアニュアルレポート（年次レポート）に掲載しています。 ・具体例としては、お客さまにとって見やすく、分かり易い資料を提供するため、交付目論見書等におけるユニバーサルデザインを導入しました。 ・お客さまニーズや接点の多様化に対応し、長期投資を想定したネット販売会社向けの商品提供を行いました。（★） https://www.sompo-am.co.jp/resources/47/47e2de7dd082941e8fdcbfe3b79b2cd4a8238271.pdf 有益な情報の提供 ・お客さま第一委員会の助言をふまえ、マーケットの変化に応じた情報提供として「マーケットレポート」や「ファンドレポート」をタイムリーに発信しています。 https://www.sompo-am.co.jp/resources/d3/d3ba980b8e01dd46d4aaad7725c2af9a7d517d3c.pdf ・幅広い世代のお客さまにメッセージを発信するための取り組みとして、SNS（Twitter、YouTube）を活用した情報発信サービスを開始しました。（★） https://twitter.com/sompo_123 https://www.youtube.com/channel/UCIqi8N8upJDVrPnnkKZGYfw/featured	P24：「ユニバーサルデザイン化の取り組み」

金融庁の原則	当社の取組方針		方針に基づく取り組み（★は2021年度以降の新たな取り組み）		アニュアルレポートの該当ページ
原則6 顧客にふさわしいサービスの提供	経営基本方針、運用商品のご提供に関する基本方針、投資信託の分配方針等において、お客さまの利益に関する内容等を明確化し公表しました。	<p>運用商品のご提供に関する基本方針（骨子）</p> <p>【高い品質】お客さまの中長期的な資産形成に資する商品を提供します。</p> <p>【有益な情報】お客さまに安心してファンドを保有していただくための有益な情報提供・資料作成を行います。</p> <p>【適切な運用報酬】お客さまのサービスに見合った合理的な水準を設定するとともに、既存商品の運用報酬の引き下げを目指します。</p> <p>【明確な分配方針】商品ごとの分配方針を明確にし、お客さまにとって異なる分配ニーズに見合った商品を提供します。</p> <p>https://www.sompo-am.co.jp/dat/provide.pdf</p>		<p>投資信託の分配方針の公表</p> <p>プロダクト毎の分配方針を3つのカテゴリに定め、公表しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カテゴリ①：決算期毎にインカム収入を中心に分配を行うことを目指すファンド ・カテゴリ②：決算期におけるファンドの運用成果をもとに、分配を行うことを目指すファンド ・カテゴリ③：中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンド <p>https://www.sompo-am.co.jp/dat/distribute.pdf</p> <p>投資目的に応じた投資信託のご紹介（★）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社のプロダクトをより深くお客さまにご理解頂くことを目的に、プロダクト特性と投資目的との関連性を明確にした「投資目的に応じた投資信託のご紹介」を作成し、開示しました。 <p>https://www.sompo-am.co.jp/dat/objective.pdf</p>	P22：「投資信託の分配方針」 P22,23：「投資目的に応じた投資信託のご案内」
原則7 従業員に対する適切な動機づけの仕組み等	経営基本方針および人材育成基本方針において、専門性・人材の重要性等を明確化し公表しました。	<p>経営基本方針（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優れた人材の継続的な育成に努め、最高水準のチーム運用力の実現と超過収益の獲得を目指します。 ・社員一人ひとりが、プロフェッショナルとして成長を実感できるようなオープンで活力溢れる組織風土を実現します。 ・多様な人材登用（ダイバーシティ）によって、社員が個性を互いに発揮しあいながら、価値を創造し続けることを目指します。 <p>https://www.sompo-am.co.jp/company/m_policy.html</p> <p>アクションプラン（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用体制を支える優れた専門人材の確保と育成に仕組み、安定的・効率的な業務基盤の強化を目指します。あわせて、お客さま第一の行動や取り組みが各役職員の評価に適切に反映するように、人事制度を運営します。 <p>https://www.sompo-am.co.jp/company/actionplan.html</p> <p>人材育成基本方針（プロフェッショナルの定義）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高い職業倫理を持ち、 2. 高度な専門知識を駆使し、 3. 最高品質の商品・サービスを継続的に提供し、 4. お客さまから信任される、 5. 高い市場価値のある人材 	専門性と創造性の追求に向けて、長期的ビジョンに基づく運用体制の強化に取り組んでいます。	<p>人事制度における取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事評価にあたり「お客さま第一」の取り組みをチェックポイントとして組み込み、社員の取り組みへのインセンティブを高める仕組みとしています。 <p>プロフェッショナルの成長支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員一人ひとりの更なる成長を支援するため、資格取得等の自己啓発費用の会社補助を行っています。 <p>エンゲージメントの向上、トップメッセージの発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンゲージメントの向上を目指し、研修などの各種取り組みと全社員対象のエンゲージメントサーベイを定期的実施しています。（★） ・お客さま第一などの目指す企業像を社員に浸透すべく、社長による中期経営計画や決算の説明会を開催しています。 <p>「顧客本位の業務運営」の定着に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客本位の業務運営定着に向け、業務プロセスの見直しを継続しています。 	P14：「運用プロフェッショナル人材」 P26,27：「人材と組織力の向上に向けた取り組み」

なお、原則5の（注2）について、当社は現在複数の金融商品・サービスをパッケージ化した商品の組成は行っておりません。

また、原則6の（注1）、（注2）、（注4）は金融商品の販売会社に関連する項目であることから、金融商品の組成に携わる当社としては直接の該当はございません。